

単元名 おむすび ころりん

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読するとともに、昔話を聞いて我が国の伝統文化に親しむことができる。
 (2) 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
 (3) 昔話の内容を捉え、これまでの学習を生かして音読しようとする。

標準的な展開例

01010117_001

【教材名】おむすび ころりん (上 P. 86～P. 93)

【準備等】読み聞かせをする本

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「おむすび ころりん」を聞き、学習の見通しをもつ。 ★お話を楽しく読んで、お話会をしよう。 ○これまで読んだ昔話について、おもしろかったところを発表する。 ○教師またはCD等による範読を聞き、おもしろかったところや好きなところを発表する。</p> <p>○音読発表会を開くことを知る。</p> <p>○みんなで音読する。</p> <p>2～3 お話の内容を捉えて、音読の仕方を工夫する。</p> <p>○畑で仕事をするおじいさんになって、音読する。</p> <p>○ねずみになって、音読する。 ○家に帰ってきたおじいさんとおばあさんになって、音読する。</p> <p>4 グループで音読の分担を決めて練習する。 ・おじいさん役 ・おばあさん役 ・ねずみ役 ・地の文役 ○役割を決めて、役になりきって音読する。</p> <p>5 音読発表会を開く。</p> <p>○「おむすび ころりん」の音読をする。</p> <p>○音読発表会の感想を伝え合う。</p>	<p>・おもしろいと思ったところや好きなところを見つけて聞く等の観点を示しておく。 【評】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞く活動を通して、我が国の伝統的な言語文化に親しむ「知識・技能」を評価する。</p> <p>・「おおきな かぶ」での音読や劇遊びを思い出して、音読発表会をすることを知らせる。</p> <p>・初めは、追い読みをさせるとよい。</p> <p>・おじいさんやねずみになって音読するところと、全員で音読するところとに分ける。</p> <p>・「おむすび ころりん すっとんとん」の歌のところは、拍子木などを使ってリズムをとってもよい。</p> <p>・何度も音読をして、繰り返しや、言葉のリズム（七五調）に気付かせる。</p> <p>・挿絵をもとに、場面の様子やおじいさんの行動を読み取らせる。</p> <p>【評】場面の様子や登場人物の行動を読み取る活動を通して、内容の大体を捉える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・第2～3時の学習で工夫した点を想起させ、それをふまえて練習させる。</p> <p>・音読に合わせて動作を付けて、楽しんで演じさせてもよい。</p> <p>【評】協力して音読したり演じたりする活動から、昔話を楽しもうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・拍子木を打ってから始めるなど、雰囲気作りをする。</p> <p>【評】音読をする活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】